

非常用浄水器の必要性

非常用浄水器とは、水道水を浄水する通常の浄水器とは異なり、災害などによる断水時に、風呂水、プール、貯水槽の水などを浄水し、飲料水や生活水を確保するものです。一般的には、災害に備え、ペットボトル水を常備されている方が多いと思います。しかし、災害の規模などによっては、長期間の断水を余儀なくされ、水不足に陥るケースも考えられます。そのような時、非常用浄水器を備えてあるか否かにより災害後の生活はもちろん、日々の安心感も大きく異なってくるでしょう。そこで、非常用浄水器がなぜ必要なのかをご説明したいと思います。

防災用として常備しているペットボトル水だけでは足りない！

飲料水は1人あたり3L/日の水が必要であるとされています。4人家族であれば12L/日が必要で、3日分であれば36L、1週間であれば84Lものペットボトル水が必要となってきます。500mlペットボトル水だと168本もの備蓄になります。これだけの量の水の備蓄は難しく、多くても10L（ペットボトル20本）程度の備蓄だと思います。また、**断水期間や家族の数により、必要な備蓄量は増えてしまいます。**

災害時の水道復旧日数は1週間から3週間以上！

実際にどの程度で水道が復旧されるかについてですが、**東日本大震災では3週間、熊本地震では1週間、また7月の西日本豪雨災害では3週間ほど**復旧までにかかっています。これらのように、大きな災害が発生した場合、水道復旧までには1週間以上の時間を要します。

自治体や国の援助による給水所で大丈夫？

水道が復旧するまでの、この1週間から3週間は、各自治体や国などの援助により給水所が設置され、ポリタンクなどを持参することにより給水を受けることが可能になります。ただし、この**給水所は即日設置されるわけではなく、実際は3日程度の時間を要しています。**また、設置されたとしてもたくさんの方が水を求め、列をなすこととなりますので、水を得るために多くの労力を必要とします。加えて、給水量にも限りがありますので、**満足のいく量を得ることができない可能性もあります。**



飲料水を得るための長い行列

給水所は近くにあるとは限らない！近くても交通混乱でいけないことも…高層階ではエレベーターが止まることも…

給水所も、近くにできる方は極僅かです。近くにあっても**交通の混乱で平常時5分の所でも2時間以上かかることも**あります。また、マンションなどの高層階ではエレベーターが使えない場合では、階段で運ぶしかありません。



道路が寸断されて交通マヒ

だから、非常用浄水器が必要です！

「飲めるゾウミニ」は、リーズナブルで一般家庭でも備えられます。

災害は突然発生します。それが今かも知れません。

私たちはいつ予想しない出来事にあうか分かりません。

”まさか”に後悔しないためにも事前の備えをすることが大切です。